

平成 30 年第 2 回太良町議会
(定例会第 1 回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
2. 15	1	待永るい子	1. 太良町特産品等振興施設の利用について 太良町特産品等振興施設が経営不振のため閉店してから1年半が経ちます。1月の臨時会において、町長自らの営業で企業誘致という形での新しい企業が入るという説明を受けました。この新しい企業について質問します。 (1) 事業内容及び事業計画について (2) 今回の企業誘致の流れと太良町へのメリットについて (3) 本来の目的である6次産業化との関連はどうなるのか	町 長
			2. 太良町の公園について 太良町には親子でゆっくり遊べる公園が少ないとの指摘を受け、総務常任委員会として先進地視察を行いました。子育ての町として親子で健康的に遊べる広くて安全な場所は必要かと考え、次の3点について質問します。 (1) 太良町内での公園の必要性についてどのように考えているのか (2) 新しい公園を造る構想はあるのか (3) 現在、すでに建設されている施設等に公園機能を加えるという構想はできないか	町 長
2. 23	2	久保 繁幸	1. 有明海再生について 有明海の魚介類を生活の糧としてきた本町の漁船漁業者が現在深刻な状況にある。以下の3点について問う。 (1) 諫早湾干拓開門の問題 (2) 農水省が示す基金案の問題 (3) オスプレイ配備での影響の問題	町 長
			2. イノシシ被害対策について イノシシによる農作物の被害が深刻化するなか、最近ではイノシシが住宅街にも出没し、また、通学路でも目撃されたと聞くが、以下の3点について問う。 (1) 通学路、住宅街等への侵入、人への被害が現実味をおびるがどのような対策を打つのか (2) 農作物への被害が年々増加と聞くが、実情と今後の対策はどのように行っていくのか (3) 有害鳥獣広域駆除対策協議会はどのような活動をしているのか	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
2. 23	3	竹下 泰信	<p>1. ひきこもりの実態把握とその対応、支援の状況などについて</p> <p>社会とのつながりを断ち、家族以外とほとんど交流しない「ひきこもり」が社会問題となっています。県でもこの問題が長期化、高齢化するなど深刻になっているため、民生委員に依頼して調査を行っています。そこで、太良町における「ひきこもり」の実態とその対応、支援の状況について、以下のとおり質問します。</p> <p>(1) ひきこもりの把握人数は几人か (2) 相談窓口の設置はどうしているのか (3) 広報活動はどのように実施しているのか (4) 支援の状況、内容について (5) 担当支援員はいるのか (6) 今後の対応は</p>	町 長
			<p>2. 定年退職職員の再任用制度について</p> <p>公的年金の支給開始年齢が、平成25年度以降段階的に60歳から65歳へと引き上げられています。それに伴い、現行の60歳定年制度のままでは給料もない、年金もない無収入となる期間が発生します。このため、以下のとおり質問します。</p> <p>(1) 再任用の期間について (2) 再任用の雇用形態と給与について (3) 再任用の希望者の状況について</p>	町 長
			<p>3. 大橋記念図書館の利活用について</p> <p>このことについては、お話し会の開催や町報たらによる広報活動で推進されているが、その実情について以下のとおり質問します。</p> <p>(1) 過去5年間の利用者数の推移はどうか (2) 図書購入費や人件費など運営費の状況は (3) 利用者を増加させる方法、運営はどう考えているのか</p>	教育長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
2. 23	4	末次 利男	<p>1. 畜産行政について</p> <p>昨今の肉用牛市況は高値で推移している。2月18日、多久畜産センターで開催された県畜産共進会で上位独占の結果となっており本町の有望産業である。今後の政策を問う。</p> <p>(1) 肉用牛飼育と課題について</p> <p>(2) 肉用牛飼育基金事業について</p>	町 長
			<p>2. 消防施設の管理について</p> <p>消防行政の充実・発展は論を待たないところである。平成28年度決算ベースでは防火水槽148基が設置されているが、財産管理について問う。</p> <p>(1) 防火水槽用地の分筆登記済と未済の箇所について</p> <p>(2) 未登記用地の今後の対応について</p>	町 長